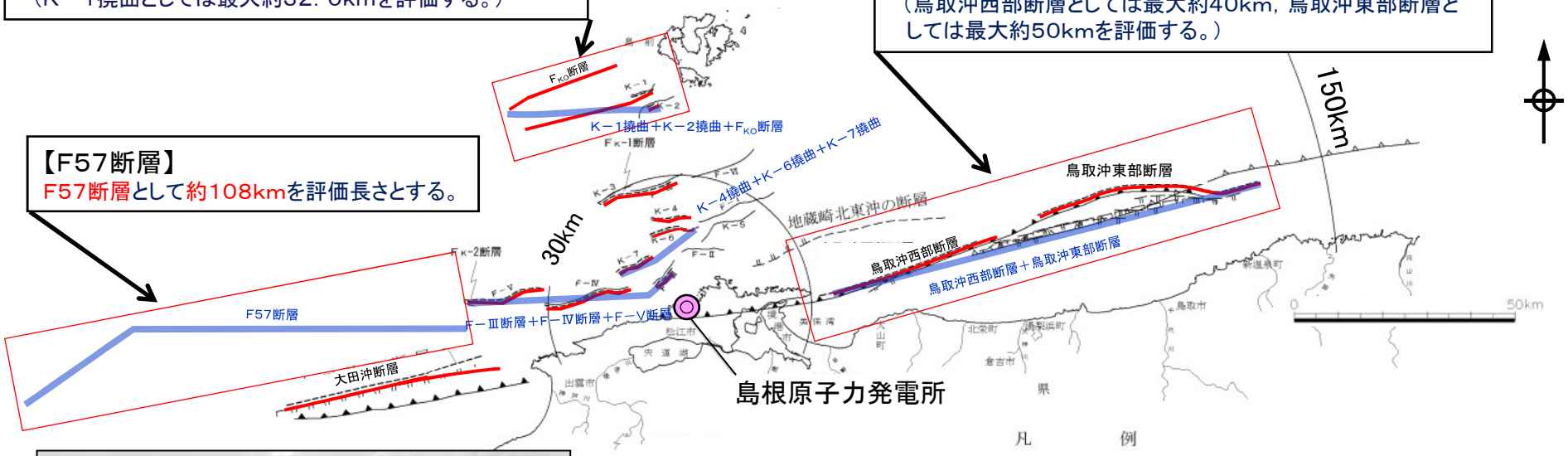
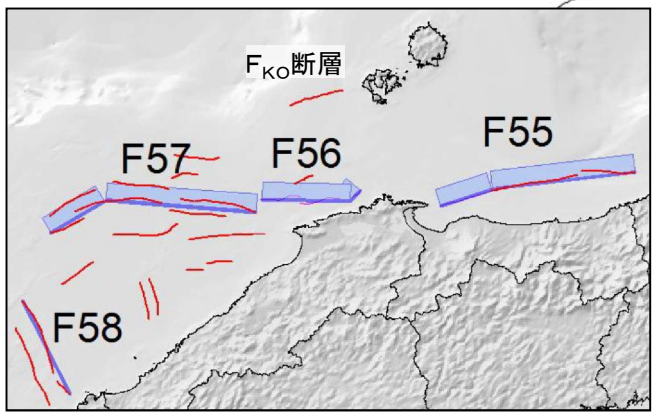
【K－1撓曲＋K－2撓曲＋F_{KO}断層】
・「更なるデータ拡充のための調査」及びF_{KO}断層を踏まえ，K－1撓曲，K－2撓曲及びF_{KO}断層の連動を考慮した場合の最大36．0kmを評価長さとする。
（K－1撓曲としては最大約32．0kmを評価する。）

【鳥取沖西部断層＋鳥取沖東部断層】
・「更なるデータ拡充のための調査」及びF55断層を踏まえ，鳥取沖西部断層及び鳥取沖東部断層の連動を考慮した場合の最大約98kmを評価長さとする。
（鳥取沖西部断層としては最大約40km，鳥取沖東部断層としては最大約50kmを評価する。）

【F57断層】
F57断層として約108kmを評価長さとする。





凡　　例

- 活断層研究会編「新編 日本の活断層」1/100万による活断層
- 活断層研究会編「新編 日本の活断層」1/100万，1/300万による活撓曲
- 地質調査所「日本地質構造図，日本地質アトラス（第２版）」1/300万による新第三紀の逆断層（三角形は断層面の傾斜方向を示す）
- 地質調査所「広域海底地質図」1/100万による断層，伏在断層および推定断層
- 地質調査所「海底地質図」1/20万による断層，伏在断層および推定断層
- 海上保安庁水路部「海底地質構造図」1/20万による断層
- 海上保安庁水路部「海底地質構造図」1/5万による伏在断層
- 徳山ほか(2001)「日本周辺海域中新世最末期以降の構造発達史」による逆断層（三角形は断層面の傾斜方向を示す）
- F－Ⅳ　敷地前面海域の主な断層
- 後期更新世以降の活動を評価する区間
- 連動した場合の後期更新世以降の活動を評価する区間